

広島高速道路の収支見通しの概要

指定都市高速道路事業の収支計画は、高速道路の建設費、建設等に要する借入金の利息及び供用開始後の維持修繕等に要する管理費用の総額を、一定期間内の通行料金収入で償還できるよう作成します。現時点における、広島高速1号線から5号線についての収支計画の概要は、次のとおりです。

なお、料金額や料金徴収期間等は、建設が終了し供用開始を行う前に、国土交通大臣の認可を受けて確定するものであり、現時点における収支検討のために目安として設定したものです。

○ 収支計画総括表

赤字：変更箇所

項目	第7回変更整備計画	<参考> 前回変更整備計画
総料金収入	約 7,356 億円	約 6,815 億円
○全線の供用開始年度	令和 11 年度	令和 11 年度
○全線供用開始後の交通量 (R22 推計)	約 10.1 万台/日	約 10.1 万台/日
○全線供用開始時の料金額の水準	普通車 1 台あたり 100 円～730 円 (対距離制、消費税 10%)	普通車 1 台あたり 100 円～730 円 (対距離制、消費税 10%)
	現行の割引を継続 ^{※1}	現行の割引を継続 ^{※1}
○料金徴収満了日	換算起算日 ^{注1)} (H25.5) から 42年6か月後	換算起算日 ^{注1)} (H24.8) から 40 年後
総支出	約 7,356 億円	約 6,815 億円
建設費 ^(注2)	約 4,490 億円	約 4,340 億円
借入金利息	約 628 億円	約 503 億円
維持修繕費等の管理経費	約 2,238 億円	約 1,972 億円

※1 現行の割引：時間帯割引（朝・夕）、マイレージ割引、コーポレート割引、乗継割引、障害者割引等

注1) 換算起算日

各路線の供用日を各路線の事業費で加重平均して求めた平均的な供用日である。

注2) 建設費の財源内訳

項目	内訳	償還条件	<参考> 前回変更整備計画 での建設費の内訳
建設費	約 4,490 億円		約 4,340 億円
国の無利子貸付金 (県・市が 1/2 ずつ債務保証)	約 1,444 億円	20 年償還 (5 年据置)	約 1,391 億円
出資金 (県・市が 1/2 ずつ出資)	約 995 億円	料金徴収期間内に償還	約 957 億円
特別転貸債 (県・市が 1/2 ずつ貸付け)	約 1,250 億円	20 年償還 (元金は 5 年据置)	約 1,213 億円
民間借入金 (県・市が 1/2 ずつ債務保証)	約 801 億円	10 年償還 (元金：一括償還)	約 779 億円

収支計画概念図

